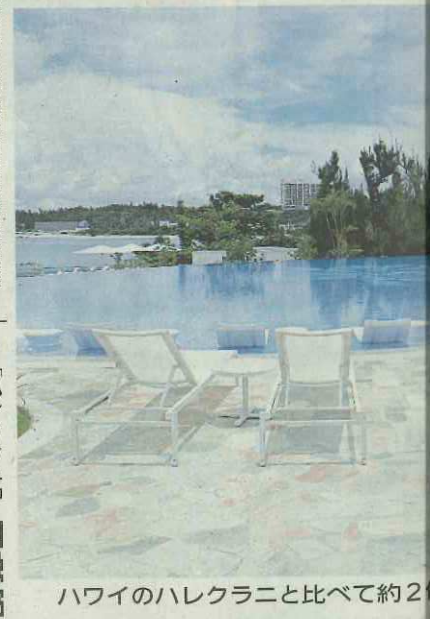




工法	2018年度	2017年度
鉄筋コンクリート造	2827	3116
コンクリートブロック造	603	603
木造	1353	1071
鉄骨造	699	700
鉄骨鉄筋コンクリート造	25	25
全体	5547	5725

※全体には

住宅が前年度比6%減(1.6%)減の4113棟となった。東京商工リサーチ沖縄支店は「建築コスト増による手控えが影響したと見られる」としている。産業用構造物も111棟(8.4%)減の1216棟。観光客の増加を背景に近年伸びていた「宿泊業・飲食サービス業用」も5年ぶりに減少した。



ハワイのハレクラニと比べて約2

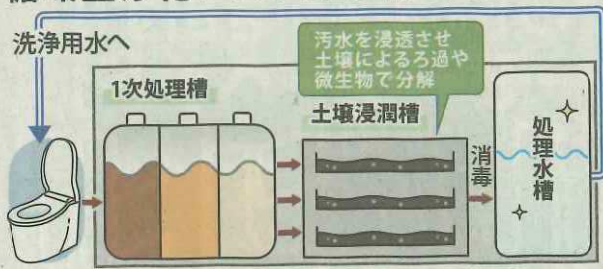
# 移動可能 循環型トイレ

光建設(糸満市、徳元猛代表)とアルコ(三重県、東和生社長)、沖創工(那覇市、伊佐一社長)は、

トイレからの汚水を微生物が含まれた土壌でろ過・分解する、環境に優しい循環型水洗トイレ「ミニソフイ」を開発した。地中埋め込み型の既存の循環型浄化システム「ソフィール」の技術を応用しコンパクト化。環境に配慮しながら、災害時にも活用できる水洗トイレとして、自治体やインフラが未整備の海外への輸出も目指す。

## 光建設・アルコ・沖創工開発

### 循環型浄化システムのイメージ



み式は、全国の世界遺産や国立公園、海水浴場など約200カ所に導入実績がある。一方で、地中に埋め込むための広い土地が必要だったり、斜面で

## 環境配慮 災害時にも活用

の設置が難しいなどの課題があった。3社は、2015年に国の「新連携事業」を活用し、移動可能な地上型の開発に取り組んできた。並行して、太陽光発電を活用するシステムや遠隔監視システム、雨水の浄化機能付き貯水槽なども開発。停電・断水した災害時でも利用可能で、離島などでもメンテナンスが少なくてすむ仕組みを組み合わせたことができる。

3社は、18年12月から19年3月まで、糸満市役所前などで実証実験を進めてきた。販売価格などは未定。トイレの数や種類などカスタマイズで設計する。レンタルリースなどの相談にも応じる。

光建設とアルコの担当者は「自治体の災害対策などで活用できる。また、沖縄と同様の亜熱帯地域などにも輸出していきたい」と語った。問い合わせは光建設、電話098(994)56335。

(政経部・川野百合子)

## 台湾百貨店の

### 限定品ずらり

デパートリウボウは23日、台湾台南市の林百貨店で取り扱っている帆布ポーチやストール、い草バッグなどオリジナル商品53品の販売を始めた。2階のセレクトショップ「樂園百貨店」内に売り場を開設し、8月末までの期間

## リウボウ 来月末まで

「ハレクラニ沖縄」の動画のQRコードはこちら



限定で販売する。林百貨店は1932年当時の技術で造られた西洋建築の建物なると明かりがとれる風景が、今として台南市のランドマークといえる。日本統治時代に山口県のある林方一氏が創業し、日本人観光客に訪れている。ポーチやストール百貨店のイラストがプリントされた商品として人気が高いという。世界の良品を販売する樂園百貨店に合致するとして、ウが林百貨店に呼び掛け実現し「職人が手作りの限定商品」がある。多くの人に知ってほしいと期待した。

リウボウの高岡義泰取締役は「観光客や県民に台湾の商品を紹介したい」と話した。

台湾の林百貨店で取り扱っているい草バッグや帆布ポーチなどをPRする販売員の女性(23日、那覇市のデパートリウボウ)



「サービス」企業や自治体に対してネットワークの接続を提供している日本トワーク(東京都) 宏社長らが23日、沖

## 日本通信 沖縄支店を

「サービス」企業や自治体に対してネットワークの接続を提供している日本トワーク(東京都) 宏社長らが23日、沖

